

院長にインタビュー

院長

こう づま かず ゆき
上妻 和幸 先生

「インプラントが患者様の人生の中で『本当の歯』となって生活に溶け込んでいることを実感。」

神奈川県横浜市の「こうづま歯科医院」は、いちばん大切にしている『誠実であること』をモットーに、上妻和幸先生が2007年に開院された歯科クリニック。全ての診察室が個室となっており、じっくりと静かに治療やご説明ができる環境を整えておられます。今回は院長の上妻先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについて伺いました。

インプラントは残された多くの歯を守ることに繋がる

—— まずは初めの質問ですが、上妻先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

歯は自分の力で回復することはありません。ですが、インプラントを埋入することによって、**自分の歯と同じくらいの『噛む力』を回復させることができます。**

また、他の天然歯を削らずに守ることができますし、インプラントをすることで噛み合わせのバランス



を保て、周囲の歯の負担も軽減できます。

つまり、**残された多くの歯を守ることに繋がるのがインプラント治療の最大のメリット**と言えます。

—— 自分の歯を守ることができるのは嬉しいですね。では実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょうか？

最初は皆様不安そうですが、インプラントをしたことで食事が楽しめるようになり、「他の歯を削ることもなく、やってみて良かった！」とお声をいただくことが多いです。「想像していたよりも痛くなかった」とのお声も多く聞きます。皆様とても緊張されていますからね(笑)。

—— そのように満足度の高いインプラントですが、やはり「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

インプラントは外科手術となりますので、初めは怖いとおっしゃる方が大半です。

当院では、インプラント治療のメリットやデメリットなど、多くの情報を患者様へお伝えしております。患



者様のご不安が解消されるまで、しっかりと事前にお話をさせていただいておりますので、安心して手術当日を迎えていただけていると思います。

それでもどうしてもご不安が拭えない場合には、綿密に連携している麻酔医により、**ウトウトとうたた寝している間に手術を終える『鎮静法』も提案**することができますので、ご安心ください。

ご納得いただけるまで向き合いながら熱くご説明

—— ところで上妻先生は、その常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

世界レベルでの最新のインプラント文献をベースとした勉強会に所属しておりますので、技術の進化や新しいトピックなど、常にアンテナを向け続けられる環境にあります。

また、“歯科医師としての師匠”の元に隔月でオペの見学や勉強会に参加させていただき、常に研鑽することを怠らないよう心掛けております。

—— では、治療をされる上で、患者様とのコミュニケーションはどのように取っていらっしゃいますか？

患者様は皆様、歯科医院に来るだけでも緊張されています。当然、インプラントが初めての患者様は不安もいっぱいだと思います。

当院では、アニメーションやイラストなど、リラックスして眺めることのできるツールや図説を用いてご説明するようにしております。

また、**ご不明な点はないか患者様に丁寧に伺い、しっかりとご納得いただけるまで説明**することを心

掛けております。

—— それでは、上妻先生。ずばり！お聞きしますが**クリニックの強みはどこでしょうか？**

当院は**全ての診察室が個室**となっており、じっくりと静かに治療についてご説明ができる環境を整えております。

私が話し好きなこともありつついとお話に花が咲いてしまうのですが(笑)、しっかりとご納得いただけるまで向き合いながら熱くご説明ができることが強みでしょうか。

—— **納得できるまで説明していただけると患者様もより安心できますね。**

ご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

子どもたちが励んでいるスポーツを観戦したりして過ごしています。日頃の鍛錬の成果を垣間見ることができ、それが嬉しくて、子どもたちに付いて回っております(笑)。

アクティブスポーツも好きなので、家族でスキーやロードバイクのツーリング、マリンスポーツに行くことも多いです。

—— それでは最後に一つ伺います。**上妻先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？**

患者様より「治してもらったことを忘れちゃった」と言われた時ですね。

私達歯科医師と当院のスタッフが一丸となって施術したインプラントが、その患者様の人生の中で『本当の歯』となって生活に溶け込んでいることを実感した時に、あぁ頑張った良かったな…と思います。

